

～ All for one, One for all. ～

# 光 の 家

## LIGHT HOUSE WITH THE BLIND

視覚障害者総合福祉施設  
東京光の家会報

— 184 号 —

2015 年 11 月 15 日発行

イエスはこれを聞いて言われた、「丈夫な人には医者はいらない。いるのは病人である。わたしがきたのは、義人を招くためではなく、罪人を招くためである」。

マルコによる福音書

第二章 一七節



光バンド「愛のサウンドフェスティバル2015」(ひの煉瓦ホール) 感謝!～地域の皆さまに支えられて～

### 会報五言

- 一・政治の世界も忙しくなった。これで日本も良い方向に行くのか、それとも……に行くのか、よくよく注意して見よう。
- 一・一八歳から選挙権があるという。若者よ、よくよく考えよう。あなたたちの考え一つで日本も変わるよ。
- 一・日本の国を守るのは誰か。これも難しい問題だ。やはり自分の国を守るのは自分たち日本人でなければならぬ。
- 一・……と私は思う。ではどんな国になるべきか。平和な国、独立の国、自由民主国家でありたい。
- 一・それが現実には可能か。可能である。第一に強くそう望むことである。強い信念をもって、強く強く望むことである。

# 保護者会会長 新任のご挨拶

東京光の家保護者会 会長 船橋 敬



このたび東京光の家保護者会の会長を務めさせていただくことになりました船橋敬と申します。若輩者ではございますが、光の家の支援者の皆様、理事長先生はじめ職員の皆様、諸先輩方のご指導をいただきながら精いっぱい務めさせていただきたいと思っております。

現在二五歳になる息子、駿が新生園でお世話になっております。知的と視覚の重複で持病もあるため、なかなか居場所が見つからず紆余曲折ありました。現在、仲間を得て、彼なりの自

立を誇りに日進月歩している姿に、親も誇りと感謝と喜びを感じております。

現在、福祉を取り巻く環境は大きな変革の時を迎えています。少なからず光の家にも影響があるでしょう。社会福祉法人にとって、逆境のほうが多いかもしれません。しかし、ピンチはチャンスともいいます。盲重複障害者に発達保障の道を開いた先駆者たちの歴史も逆境の連続だったとお聞きしました。夢と志を実現しようとする人に困難が与えられたが、信念と情熱と熱意を持ち、おれずに立ち向かうことで周囲を動かしてきたという話は、まさに光の家の理念であるキリスト教精神の賜物。安定しかけた礎に訪れた現在の逆風は、もしかしたら光の

家のさらなる進化・発展のための試練なのかもしれません。

ローマ人への手紙の一節に次のような言葉があります。「今の時のいろいろの苦しみは、将来私たちに啓示されようとして

いる栄光に比べれば、取るに足りないものと私は考えます」しかし警告も与えて下さっています。「狭い門からはいりなさい。滅びに至る門は大きく、その道は広いからです。そして、そこからはいつて行く者が多いのです。」(マタイによる福音書)道を見誤らず、真実の声に耳を澄ませば困難を脱け出す方法も必ず用意されていると信じます。「ですから、私たちは勇気を失いませぬ。たとい私たちの外なる人は衰えても、内なる人は日々新たにされています。今の時の軽い患難は、私たちのうちに働いて、測り知れない、重い永遠の栄光をもたらすからです。私たちは、見えるものではなく、見えないものにこそ目

を留めます。見えるものは一時的であり、見えないものはいつまでも続くからです。」(コリント人への手紙)

今、厳しい環境ですが、光の家なら、どんな困難にもおれずに柔軟に対応し、乗り越えていくことができると信じております。先日、理事長先生より「前を見据えて行動する覚悟を決めた」という力強いお言葉をいただきました。保護者の共通の願いは園生の幸せと安心。親亡き後も笑顔で暮らしていけること。イコール職員の皆様の熱意と幸せでもあると思います。保護者会は園と両翼であるべき。支援者の皆様や園と意識や情報をより密に共有し、力を合わせ、地道に一歩ずつおられることなく歩んでいきたいと思っております。今後ますます支援者の皆様の支えとお力添えが必要になるかと思っております。これからもより一層のご支援ご協力を賜れますようお願いいたします。

平成二六年四月から開設している  
「光の家相談支援事業所」



サービス等利用計画の作成・相談

平成二四年四月の障害者自立支援法一部改正により、障害者の方が抱える課題の解決や適切なサービス利用に向け、ケアマネジメントをよりきめ細かく支援するため、原則としてすべての障害福祉サービス等を利用する障害者について、指定相談支援事業者が作成する「サービス等利用計画」の作成が必要となりました。そのため東京光の家でも光の家新生園・光の家家



ご相談お待ちしております(中央 管理者 浅井)

光園を利用されている利用者全員に必要となったこと、そして地域の障害を持つ方々のために平成二六年四月に「光の家相談支援事業所」が開設されました。「サービス等利用計画」とは、介護保険を利用しての方にケアマネージャーがケアプランを立てることと同じように、相談支援事業所の相談支援専門員が障害をお持ちの方々がどんな暮らしをしたいのか、そのために

何のサービスを利用するのかについての相談にのり、一人一人に応じた計画書を作成、市区町村及び障害福祉サービス事業所等の関係機関との連絡調整を行うことです。また定期的に障害福祉サービス等状況の確認を行う「継続サービス利用支援（モニタリング）」にてサービスが適切に行われているのか等を確認し、必要に応じてサービスの見直しも行います。

現在光の家相談支援事業所には相談支援専門員が三名います。昨年は光の家の利用者を中心に地域の方々に対し、様々な計画相談を行ってまいりました。少しでも障害をお持ちの方々の希望に合う充実した生活が送れるように、今後も一人一人に寄り添った支援を行ってきたいと思います。

ぜひ何か障害福祉のことでお困りの際はご相談ください。

(光の家相談支援事業所)

管理者 浅井 紗和



障害のある方やそのご家族から、生活に関してお困りのこと等をご相談いただき、福祉サービスの利用援助や専門機関のご紹介を行う事業所です。来所での相談、電話相談、訪問による相談支援を行っています。

※「サービス等利用計画の作成」等もご相談ください。

開所日時：月曜日～金曜日 9：00～18：00

対象者：日野市及び周辺地域にお住まいの障害のある方、及びそのご家族の方

お問い合わせ：東京光の家 光の家相談支援事業所 TEL：042-581-2340

# 光バンド 愛のサウンドフェスティバル

光の家障害者グループホーム新設記念  
光の家鍼灸マッサージホーム開設50年記念

# 感謝

地域の皆さまに支えられて

2015.9.26 sat ひの煉瓦ホール

TOKYO HIKARINOIE CONCERT 2015





## 光バンド

### 「愛のサウンドフェスティバル」 実施のご報告

今回の光バンド「愛のサウンドフェスティバル」は、「感謝・地域の皆さまに支えられて」をタイトルに、大坪日野市長をお迎えし、「ひの煉瓦ホール」で、今年四月から日野市内にオープンした「光の家障害者グループホーム」新設記念と、「光の家鍼灸マッサージホーム」開設五〇年記念を兼ねて開催されました。

そして、長年の事業継続に対するご理解ご協力やご愛顧への感謝、光バンドを平成元年の結成以来応援し育て支え続けて下さった地域の皆さま方への感謝をバンドメンバーや役員関係者一同の胸に深く刻み、『今までどうもありがとう！』の気持ちで音楽に乗せてお届けしようと考え、初回コンサート以来となる入場料金を頂かない無料での開催とさせて頂きました。

光バンドメンバー一同は自らが背負う重複障害の重荷に挫ける事なく、コンサートの成功に由って地域社会の皆さま方へ感謝の意を表し、自分達の元気な演奏や歌声を届ける事でご来場の皆さまにも患難を克服し改めて生きる勇氣や希望を感じて頂きたいと、日々練習に精一杯誠実に励んでおります。

来年のコンサートに於きましても、引き続き皆様からの熱きご声援をお寄せ下さいますようお願い申し上げます。願ひ申し上げ、簡単ではございますが本年の実施ご報告とさせて頂きます。(文化活動委員 川崎 啓三)

平成  
27年度

# アジア社会福祉従事者研修

研修期間…七月二十九日(水)～九月四日(金)  
実習生…方柏鈞さん(台湾)

東京光の家では毎年、全国社会福祉協議会が実施する「アジア社会福祉従事者研修」の実習生を受け入れています。

研修では、各施設の訓練や作

業、生活支援に参加して頂きました。

方さんは、小さい頃から日本の本を読んで育ったそうです。好きな日本食はラーメンで、日本語の日常会話が出るため、利用者の皆さんとの交流

も広がりました。また、職員も方さんが台湾で従事する児童福祉や災害社会福祉の話を伺い、台湾の社会福祉を学ぶよい機会となりました。

先日は、他のアジアからの実習生の皆さんと、光バンドの演奏会に来てくださり有り難うございました。日本での研修が充実したものとなり、交流が深まることを願っています。



利用者と明るい交流が出来ました(カナンにて)



台湾の社会福祉について講義する方さん

平成  
27年度

# ソウエルクラブ海外研修

研修期間…九月二十六日(土)～十月三日(土)  
研修先国…イタリア・デンマーク

ソウエルクラブの海外研修に参加させて頂き、イタリアのミラノとデンマークのコペンハーゲン障害者施設を、二箇所ずつ見学しました。

イタリアのミラノはミラコ

レまたミラノ万博が行われている最中で、いつも以上に観光客が多く多国籍であるということでした。イタリアの福祉は政策的には日本と同じ分類であり学

ぶことが多くありました。デンマークは高税率、高福祉国家であり「自己決定の国」です。一八歳になると、全員親元から離れすべての事は国が面倒をみてくれるとのことでした。

海外研修に参加させて頂き、多くの事を学び肌で感じることできた、貴重な八日間でした。(光の家神愛園 支援課 主任 小林 貴寿)



イタリア・ミラノのスフォルツェスコ城にて



参加者全員で記念撮影 (後列 中央左)

飛躍くわかやま国体  
利用者二名が金メダル獲得!



開催期間…一〇月二四日(土)～  
一〇月二六日(月)

「第一五回全国障害者スポーツ大会く二〇一五 紀の国わかやま大会」に光の家新生園の阿久津香織さん、長井啓子さんの二名が陸上競技(身体)の京都代表選手として出場しました。



いざ、わかやまへ!!

今大会初出場ながら阿久津香織さんはジャベリックスローで八m〇八の大会新記録で金メダル、ソフトボール投げは八m一五で銀メダルを獲得、長井啓



仲良く金メダルを獲りました!

子さんは砲丸投げで四m〇三で金メダル、ジャベリックスローでは五m〇五で銀メダルを獲得し、優秀な成績を収めました。全国大会という大舞台での活躍は光の家にとっても大変名誉なことであり、誇らしく思います。今後もあらゆる分野で更なる飛躍を目指して頂きたいと思えます。

(光の家新生園 訓練課  
武田 枝里子)

第三八回 チャリティバザー

地域の  
方々に感謝



バザー当日は秋晴れの中、大盛況でした

去る、一〇月二二日(月)体育の日に、第三八回チャリティバザーが開催されました。今年も天候にも恵まれ、一〇〇名以上のボランティアや地域の方々、保護者の皆様の協力と支えのおかげで、売上目標の四〇〇万円を達成できました。光の家のバザーを無事に終えることができましたことを心より感謝申し上げます。

(バザー委員長 阿部 哲也)

寄付者名簿

平成二七年七月三日  
一〇月二日

安積義治様	コーヒージャケット 一箱
土屋正和様	南瓜
河村正様	米
佐藤しげ井様	梨
坂本昭一様	枝豆
浅石常勝様	玄米
井川幸雄様	メロン
新海直子様	米
松田功様	梨
佐藤農園様	ぶどう
城山鶏園 加藤奉文様	梨
綾木潔様	メロン
仲美陽様	玉ねぎ
小西妙子様	卵
米倉清治様	梨
高木啓一様	織り機(中古)
阿久津隆様	バナナ
	米
	柿
	柿
	ゆず

※紙面の写真は、すべての本人の許可を得て掲載させて頂きました。

第5回

### 光の家オープンハウス 「見えない人のくらし」



どこから玉が転がってくるのかな？

九月二二日(土)に『光の家オープンハウス』を開催しました。地域の方に来ていただけるようなイベントとして、光の家の紹介や視覚障害を持つている利用者の生活の様子も紹介し、また、アイマスクを着けて歩いたり、卓球をして視覚障害の方の感覚を体験したり、点字を書く体験のコーナーを企画



白杖で段差を確認します

しました。参加者からは、「点字の勉強になった」「視覚障害の方への対応方法がわかってよかった」といわれる方もいて楽しんでいただけました。今年で五回目のイベント開催ですが、夏祭りやバザーほど大きな規模ではありませんが、今後も地域に根ざした行事の一つとして継続していくことを目指していきます。  
(地域貢献活動室長 山本 誠太郎)



田中理事長に健闘を報告する自衛消防隊員

九月一日(金)、日野市万願寺中央公園グラウンドで日野消防署管内の事業所による自衛消防活動審査会が行われました。東京光の家は男子隊のAチームと女子隊のBチームが「2号消火栓の部」に出場し、ともに優秀賞に輝きました。練習時間の調整に苦労していましたが、本番では、しつかり結果を出すことができました。  
(防災活動委員長 平野 吾一)

自衛消防活動審査会  
審査会に二隊出場  
ともに優秀賞に輝く！

発行 〒一九一〇〇六五  
東京都日野市旭が丘一七七一  
社会福祉法人 東京光の家  
電話 〇四二(五八二)二三四〇  
FAX 〇四二(五八二)九五六八



力強く放水する女子隊



消火栓を操作する男子隊